

土木交通委員会説明資料

平成27年3月5日

交 通 局

目 次

ページ

1	地下鉄構造物の柱等の耐震補強計画及び進捗状況	1
2	埋設白ガス管の使用施設及び取替予定	2
3	地下鉄における犯罪等の件数の推移	3
4	駅構内カメラの整備状況	4
5	ミュージックトレインの概要	5
6	東山線名古屋駅におけるデジタルサイネージ広告の設置に伴う 広告料収入の増加	6
7	伏見駅の駅ナカビジネス	7
8	駅構内店舗及びATMの設置数の推移	9
9	休職者数の状況	10

1 地下鉄構造物の柱等の耐震補強計画及び進捗状況

(1) 計画

年 度	駅 数	区間数	本 数
25～31	33	28	2,539

(注) 計画本数の2,539本には、柱のほか梁の補強本数を含みます。

(2) 進捗状況

区 分	駅 数	区間数	本 数	進捗率 (%)
26年度末 完了予定	7	2	397	16
27年度末 完了予定	20	7	1,160	46
残 り	13	21	1,379	—

(注) 進捗率 (%) は、計画本数に対する完了予定本数の割合です。

2 埋設白ガス管の使用施設及び取替予定

区分	施設名	施設数	取替予定年度
バス	猪高営業所	7	平成27年度
	植田バスターミナル詰所		
	平針バスターミナル詰所		
	高畑バス回転場詰所		
	平針住宅回転場詰所		
	星崎バス回転場詰所		
	緑ヶ丘住宅回転場詰所		
地下鉄	高畑駅	11	
	藤が丘駅		
	東海通駅		
	港区役所駅		
	名古屋港駅		
	赤池駅		
	前津変電所		
	御器所変電所		
	浄心合同事務所		
	軌道事務所(高畑)		
	電気事務所(岩塚)		
計		18	—

3 地下鉄における犯罪等の件数の推移

(単位 件)

区分 \ 年度	23	24	25	26
暴力	35	56	30	23
痴漢	20	39	31	15
盗撮	9	16	6	4
その他	11	5	13	11
計	75	116	80	53

(注) 1 平成26年度は、平成27年1月末までの件数です。

2 警察に通報した件数です。

3 その他の主なものには、お客様同士の口論や、スリ・ひったくりがあります。

4 駅構内カメラの整備状況

設置場所	駅数	台数
改札口	59	247 (91)
駅長室・サービスセンター	85	184 (184)
通路・エレベーター	85	787 (181)
ホーム	57	344 (51)
計	85	1,562 (507)

- (注) 1 平成26年度末の整備見込みです。
 2 ()内は録画が可能なカメラの整備数です。
 3 重複して整備している駅があるため、駅数の計は一致しません。
 4 名鉄管理駅の上小田井駅・上飯田駅は含みません。

5 ミュージックトレインの概要

実施日	平成28年3月21日(月・休)
運行	名古屋港駅を目的地とする特別列車を片道1本運行
内容	<ul style="list-style-type: none">・列車内で名古屋フィルハーモニー交響楽団員による生演奏・大規模屋外音楽イベントやパフォーマーライセンス制度のPR
お客さま募集方法	ウェブサイト等で募集のうえ、抽選

6 東山線名古屋駅におけるデジタルサイネージ広告の設置に伴う広告料収入の増加

(単位 千円)

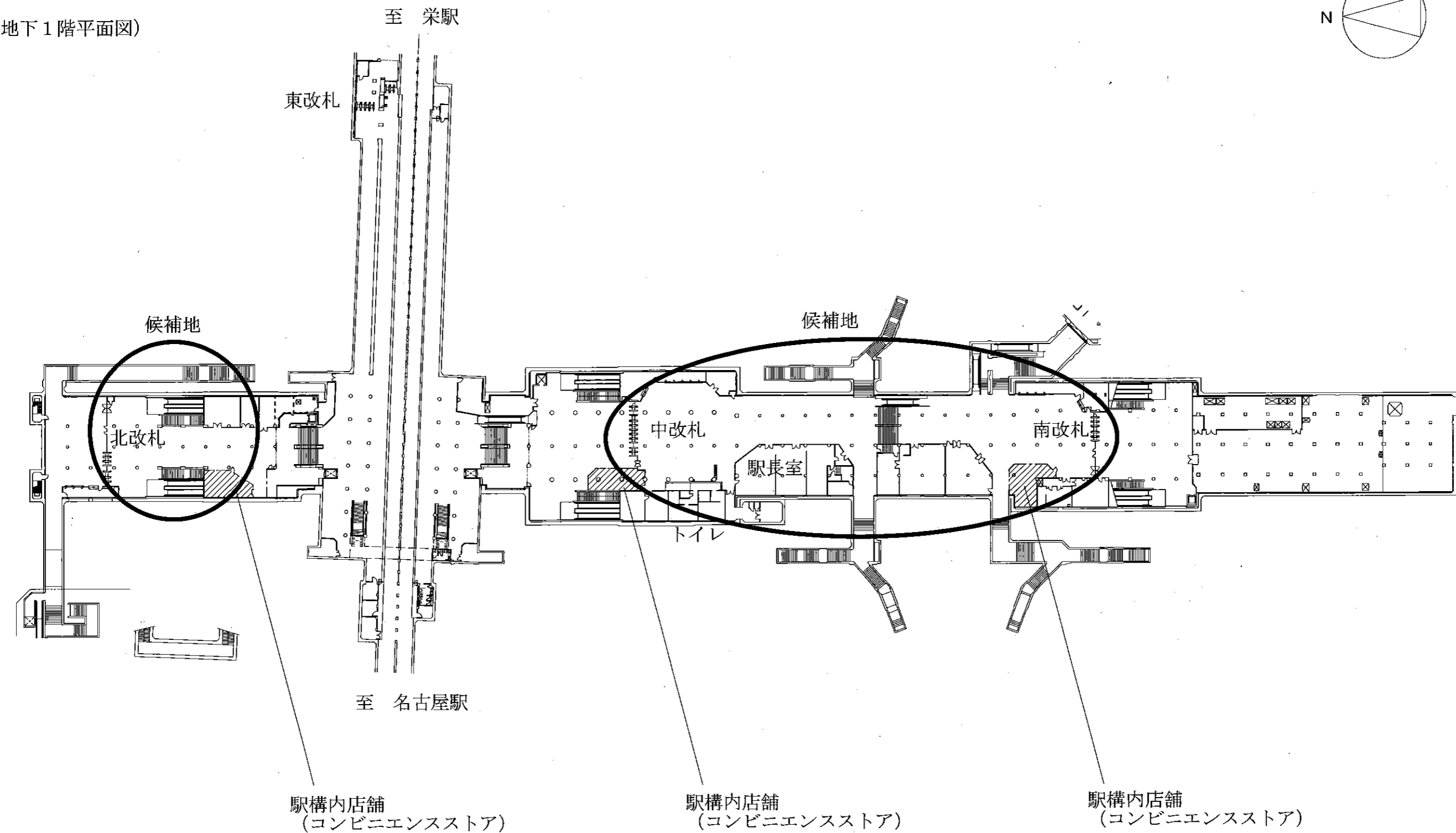
区 分		設 置 前 (A)	設 置 後 (B)	増 収 額 (B-A)
複数面連動型 デジタルサイネージ		0	63,936	63,936
駅マルチ ポスター	南改札	47,594	25,050	△ 22,544
	移 設	0	22,544	22,544
	計	47,594	47,594	0
合 計		47,594	111,530	63,936

(注) 設置後の数値は、平成28年度以降における年間広告料収入の見込みです。

7 伏見駅の駅ナカビジネス

(1) 候補地

(地下1階平面図)



(2) 課題

ア 法規制

建築基準法、消防法、名古屋市地下街基本方針などにおける地下街に該当した場合は、地下鉄駅構内における店舗施設の防火対策等について、関係局と協議する必要があります。

イ 収益の確保

工事金額やランニングコスト、店舗賃料などについて慎重に吟味し、収益が確保できる事業規模を検討します。

ウ 駅ナカビジネスの管理・運営方法の検討

他都市の事例を参考に、高い収益を生み出す駅ナカビジネスの管理・運営方法を検討します。

エ 地域の理解

駅は、地域のランドマーク的存在であり、地域の商店街等にも理解を得ながら、地域の賑わいの創出や活性化などに寄与できる駅ナカとする必要があります。

オ 駅会議室等の移転

店舗面積を確保するために、駅会議室等の一部移転が必要となりますが、お客様の不便とならないように検討します。

8 駅構内店舗及びA T Mの設置数の推移

(1) 駅構内店舗

区分 年度	増 加		減 少		累 計	
	店舗数	駅 名	店舗数	駅名	店舗数	駅数
25	3	八事(鶴舞線) 中村日赤 いりなか	0	—	36	27
26 (見込)	2	八事日赤 名古屋(桜通線)	0	—	38	29
27	2	今池(東山線) 丸の内(鶴舞線)	0	—	40	31

(注) 累計の駅数は、交差駅について各線別に計上したものです。

(2) A T M

区分 年度	増 加		減 少		累 計	
	台数	駅 名	台数	駅名	台数	駅数
25	8	本山(名城線) 黒川 矢場町 平針 いりなか 植田 伏見(鶴舞線) 徳重	0	—	61	36
26 (見込)	2	市役所 野並	1	覚王山	62	37
27	5	未 定	0	—	67	未定

(注) 累計の駅数は、交差駅について各線別に計上したものです。

9 休職者数の状況

(単位 人)

区 分		25年度			26年度		
		精神 疾患	その他	計	精神 疾患	その他	計
バス		12	6	18	10	7	17
地下 鉄	駅務区	4	6	10	8	4	12
	運転区	3	4	7	2	1	3
その他		5	1	6	14	1	15
合 計		24	17	41	34	13	47

(注) 平成26年度は、平成27年2月1日までの状況です。

